

リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

奈良春日野国際フォーラム甍

会 期

2024年3月16日(土)  
17日(日)

# 第15回 静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders)

## — プ ロ グ ラ ム —

### ■岡田正メモリアルレクチャー

「Hypoganglionosisの二人の患児から学んだ栄養管理」

### ■パネルディスカッション:胃瘻の適正使用について考える

### ■リーダーズ演題I:高度な代謝の理解が必要な症例

### ■リーダーズ演題II:在宅医療に関連した問題

### ■リーダーズ演題III:NSTとして考えるべき問題

### ■リーダーズ演題IV:複雑な病態を考えた管理が必要な症例

### ■リーダーズ演題V:脂肪乳剤、器具

### ■ランチョンセミナー

「あらためて、経腸栄養剤の使い分けと消化態栄養剤の立ち位置」

# プログラム

## 3月16日(土)

11：45～11：50	<b>開会のご挨拶</b> 当番会長：森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 院長)
11：50～12：50	<b>岡田正メモリアルレクチャー 「Hypoganglionosisの二人の患児から学んだ栄養管理」</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演 者：山内 健(佐賀県医療センター好生館 小児外科) 共 催：ニプロ株式会社
13：00～15：20	<b>パネルディスカッション：胃瘻の適正使用について考える</b> 座 長：森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 内科) 西口 幸雄(大阪市立総合医療センター 外科) 口演P-1 <b>ACPを意識したPEG同意書作成の検討(私案) —必要な患者さんに造設するために—</b> 森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 内科) 口演P-2 <b>多職種医療チームの介入ならびに亜急性期の胃瘻造設による経腸栄養管理が奏効し、経口摂取可能かつ独歩で自宅退院することができたCOPDを有する高齢者誤嚥性肺炎の一例</b> 原 讓次(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科) 口演P-3 <b>PEG-Jでの安定した管理が可能となった高度裂孔ヘルニアを伴うパーキンソン症候群の一例</b> 佐々木 亨(市立芦屋病院 外科) 口演P-4 <b>胃瘻造設あるいは胃瘻からのミキサー食注入を導入した直後から経口摂取が改善した小児7症例</b> 北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科) 口演P-5 <b>当院で行っているPEG造設・交換の工夫</b> 堀内 葉月(南奈良総合医療センター 消化器内科) 口演P-6 <b>経鼻チューブ先端確認システム：タムガイド®の使用経験</b> 目黒 英二(函館厚生院 ななえ新病院 内科)
15：20～15：30	<b>総会</b>
15：30～16：15	<b>企業PRプレゼンテーション、企業展示</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) アボットジャパン合同会社、株式会社大塚製薬工場、ニプロ株式会社
16：15～17：15	<b>リーダーズ演題I：高度な代謝の理解が必要な症例</b> 座 長：栗山とよ子(福井県立病院) 島田 雅彦(国家公務員共済組合連合会 三宿病院) 口演I-1 <b>過剰な分岐鎖アミノ酸投与が肝性脳症の経過に影響したと推察された1症例</b> 小山 照代(福井県立病院 栄養管理室) 口演I-2 <b>治療経過において様々な病態を示した難治性高アンモニア血症の1例</b> 木許 健生(大阪府済生会 茨木病院 外科) 口演I-3 <b>3年間の偏食により壊血病を発症した1例</b> 西岡 弘晶(神戸市立医療センター 中央市民病院 総合内科)
17：15～18：15	<b>リーダーズ演題II：在宅医療に関連した問題</b> 座 長：飯塚 勇(沼津はまゆう病院) 田中 誠(医療法人青仁会 池田病院) 口演II-1 <b>独居癌患者の自宅でのHPN管理</b> 杉本 由佳(すぎもと在宅医療クリニック) 口演II-2 <b>有料老人ホームにおけるTPN長期管理の問題点</b> 関口 翠(訪問看護ステーション トータルケア) 口演II-3 <b>災害時を想定した管理方法の問い合わせから今後のHPN管理を考える</b> 角田すみ代(公益財団法人 天理よろづ相談所病院)

## 3月17日(日)

9:15 ~ 10:15	<b>リーダーズ演題III：NSTとして考えるべき問題</b> 座長：木許 健生(大阪府済生会 茨木病院) 野呂 浩史(市立芦屋病院) <b>口演III-1 多発外傷患者に対し早期NST介入し栄養管理を行った症例</b> 船間 咲希(医療法人青仁会 池田病院 栄養科) <b>口演III-2 90歳以上の超高齢者へのNST介入の現状</b> 衣笠 章一(公立宍粟総合病院) <b>口演III-3 中小病院におけるポリファーマシー対策と連動した電解質やビタミン、微量元素の調整について</b> 清水 忠洋(国家公務員共済組合連合会 三宿病院)
10:15 ~ 11:15	<b>リーダーズ演題IV：複雑な病態を考えた管理が必要な症例</b> 座長：小川 哲史(高崎総合医療センター) 山本 祐二(つくばセントラル病院) <b>口演IV-1 脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血にて人工呼吸器管理・胃瘻造設状態となるも、リハビリテーション、NSTによるサポート・栄養管理を継続し在宅復帰可能となった症例</b> 瀬戸口和茂(医療法人青仁会 池田病院 リハビリテーションセンター) <b>口演IV-2 食道癌術後S状結腸捻転とNOMIにて全結腸・小腸大量切除、80cmの空腸人工肛門となつた症例の栄養管理</b> 木暮 道彦(公立藤田総合病院 外科) <b>口演IV-3 積極的に栄養管理を行った嚥下障害を伴うS状結腸癌の一術</b> 林 泰生(杉田玄白記念公立小浜病院 外科)
11:25 ~ 12:10	<b>リーダーズ演題V：脂肪乳剤、器具</b> 座長：林 宏行(日本大学 薬学部) 大里 恭章(医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院) <b>口演V-1 静注用脂肪乳剤の適正速度に向けた投与速度の院内統一</b> 石光 一幾(JCHO徳山中央病院 薬剤部) <b>口演V-2 当科におけるオメガベンの使用経験とその課題</b> 中畠 賢吾(奈良県総合医療センター 小児外科) <b>口演V-3 シリコーン製カテーテルR3ポートを用いたエタノールロック療法の安全性について</b> 井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部)
12:15 ~ 13:00	<b>ランチョンセミナー「あらためて、経腸栄養剤の使い分けと消化態栄養剤の立ち位置」</b> 座長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演者：栗山とよ子(福井県立病院 内科・NST) 共催：森永乳業クリニコ株式会社
13:00 ~	<b>次回学術集会のお知らせ、閉会のご挨拶</b> 第16回当番会長：林 泰生(杉田玄白記念公立小浜病院 外科) 第15回当番会長：森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 内科)